

# 本 愛

発 行  
天理教本愛大教会  
〒 453-0821  
名古屋市中村区大宮町 1-60  
TEL (052) 461-4326  
FAX (052) 461-4320  
〒 632-0071  
奈良県天理市田井庄町 19-1  
TEL (0743) 62-0378  
編集責任 広 報 部

## 報恩感謝別席団参

6月23日(日)  
11月24日(日)

### 「ご恩報じの実行」を合言葉に 一歩一歩着実に歩みを進めよう



1月12日に行われた「教会長年頭連絡会」では、大教会長から本年の活動目標について詳しく説明がなされた。集まった教会長らは真剣な面持ちで説明に聞き入り、新たな目標に沿って活動を推し進める決意を固めた。

立教182年の「教会長年頭連絡会」は1月12日の午後1時30分より大教会神殿参拝場で開催された。教会長らが集まり、全員

でおつとめを勤めた後、挨拶に立った大教会長は、「自分の立ち位置から、いきなり飛躍することはできない。奇跡といわれるような素晴らしい結果が必ず来ると信じ、夢を持って、一歩一歩着実に前進する。また、ただ漠然と頑張っても、なかなか良い結果は生まれない。頭を使って、全身全霊を使って前へ進むということが大切だ」と述べた。

その上で今年の活動目標である「ご恩報じの実行」と、3つの基本指針について、そこに込めた思いを語った。そして、具体的な活動として本年が3年目となる一名称三人の修養科生募集と、「報恩感謝別席団参」が打ち出された。

#### 別席団参の推進

昨年11月25日に行われた「報恩感謝別席団参」。本年は6月23日と11月24日の2回実施される。この団参を活用して、初参拝者や別席者、おさづけの理拝戴者をしっかり丹精させていきたい。

また別席団参の前月、5月と10月を「布教活動強調月間」と定め、布教活動を推進する。期間は5月が5日から12日、10月は14日から20日の予定。ご恩報じの心をいがけとおたすけに表し、布教活動に取り組みせていただきたい。

#### 立教182年 活動目標

#### ご恩報じの実行

##### 《基本指針》

- 初参拝の推進と新ようぼくの丹精
  - 報恩感謝のおつくしの徹底
  - 若者にご恩報じの心を伝えよう
- ◎ 一名称が本年までに三人の修養科生をご守護頂こう
- ◎ 報恩感謝別席団参の実施 (6月23日・11月24日)

#### 2月のこよみ

入 社 祭	1日 午前10時
祭典終了後、教会長連絡会 よふき会例会	2日 午前10時
学生会例会	2日 午前10時
こはる会例会	3日 午前10時
女子青年例会	9日 午前10時
月 次 祭	13日 午前10時
布教実修所	14日 午前9時30分
むつみ会例会	16日 午前10時
本愛こども会ニコソニック	17日 午前9時
委員部長講習会	20日 午前10時
雅楽勉強会	22日 午前10時
青年会例会	23日 午前10時
本愛ようぼく錬成会	24日 午前10時30分
本 部 月 次 祭	26日 午前9時

教会長年頭連絡会における大教会長挨拶 (要旨)

# 徹底したご恩報じを念じ 新ようぼくをご守護頂こう



昨年は「かしもの・かりもの」の理を治め、ご恩報じを実践しよう」という、少し長い目標だったが、今年の大教会の活動目標は一言、「ご恩報じの実行」というふうに定めさせていただいた。

基本指針としては、一つ目に「初参拝の推進と新ようぼくの丹精」。初参拝は昨年来、本愛一丸となって一生懸命進めてきた活動だが、改めて新ようぼくの丹精というところを基本指針の一つにしている。ご承知のように、真柱様

はご自宅で療養されている状態で、現在おさづけの理の拝戴は行われていない。

おさづけの理が戴けない、これは本当に残念なことであり、申し訳のないことである。ならば発想の逆転で、私たちが新たなようぼくをご守護いただき、おさづけの理の拝戴を心定めさせていただく。それが真柱様に本復していただき、世界だすけの一翼を担わせた方法だと私は思う。そういう意味で、敢えておさづけの理を頂けないこの年頭に、新ようぼくの丹精ということを打ち出し、ご守護いただけるよう務めたい。

二つ目に「報恩感謝のおつくしの徹底」とあるが、おつくしに関しては、各教

会の熱心な信者さんにお運びいただいたおつくしを、何とかという思いで大教会に運んでいただきありがたいと思う。

実は昨年末に、心定めには届かないが、どうしてもとの思いから、直属教会に追ってのおつくしをお願いをさせていただいた。その結果、本当に驚くような大きな真実をお寄せいただくことができた。大教会でも昔は、同じ様に電報で追ってのおつくしの連絡があったという。そう考えると、この方法は先人の辿った道を、現代にも歩ませていただいている、むしろ嬉しい活動ではないかと思う。難しい中を運ばせていただくことが、親神様に十分受け取っていただくおつくしの仕方ではないだろうか。

そして、忘れてならないのが、親神様は受け取って「ありがとう」でおしまいにされることはないとい

うこと。どこに返ってくるのかは分からないが、受け取ったものは必ず利息を付けて返してくださる。先人たちはそれを分かっていたから一生懸命運んだ。

単に義務的におつくしをしているのではない。親神様がお返しくださることを忘れずにおつくしの御用を務めさせていただきたい。

三つ目に「若者にご恩報じの心を伝えよう」。これは昨年とよく似ているが、そこから更に一步踏み込んで、今申しているご恩報じの心をそのまま伝えさせていただくというのが、昨年の大きな相違点である。

そして「一名称が本年までに三人の修養科生をご守護頂こう」。一昨年、昨年にも言ったように、それを全うできそうな教会はほとんどないだろうと思う。しかし、これもお守護次第であり、やってみなければ分からない。最後まで諦めず、

本年までに三人の修養科生をご守護いただく。

最後に「報恩感謝別席団参」。これは6月23日、11月24日、この2日間に昨年11月25日に行ったような別席団参を推進する。そして初参拝者、別席者、おさづけの理拝戴者をしつかり丹精していただきたい。

おふでさきに、  
たんくくと神の心とゆうものわ ふしぎあらハしたすけせきこむ(三一〇四)とある。天理教は倫理道德の教えではない。やはり神様の不思議を見せていただくことを楽しみに通らなくては面白くない。

皆様の身の回りにも不思議はたくさんあると思う。ありがたい、うれしい。その心を合言葉に進めば、素晴らしい本愛の教会の姿が見えてくる。どうかそうしたことを合言葉に、今年もお道の御用に共々に邁進させていきたいと思います。

# 内統領迎え、春季大祭

## 活動目標の実践へ更なる決意

大教会の春季大祭が1月13日に執行され、部内教会長と大勢のようぼく・信者が参拝。内統領・宮森与一郎先生のご巡教をいただいて、神苑には勇み心が満ちあふれた。

この日、名古屋市の最高気温は13度を超え、3月上旬並みの暖かさとなり、平年に比べて過ごしやすく穏やかな一日となった。

大教会長が神前に参進して祭文を奏上し、年頭の決意を述べられ、続いて、座

### 厳かに大教会の元旦祭

立教182年の元旦祭は1日午前5時、大教会長祭主のもと、厳かに執り行われた。平成最後となる元旦祭には、教会長をはじめ大勢のようぼくが参拝し、厳粛な雰囲気の中、真剣な面持ちでみかぐらうたを唱和した。

おつとめの後、大教会長

## 春季大祭 祭典役割

立教182年

平成31年1月13日

祭主	大教会長	佐藤幸夫
指図者	出口道男	松原悟
賛成者	伊藤寿輝	
開扉	大教会長	

### おつとめ役割

座りつとめ	大教会長	安藤吉人	板山公人	安藤長夫	安藤ちか子	山本時子	安藤正二郎	坂倉敏之	佐藤正成	青木健裕	大野昭裕	山上八郎	筑本信郎	松原英一	松田友治	野田寛子	佐藤孝代	長谷川康栄	胡三味琴	
前	大橋隆道	杉村善男	吉田美恵子	安藤和美	門田和子	野田正美	石川文彦	山田雅之	中島功茂	門田保成	桑倉晴	大倉光	出川信	河村善太郎	松浦太郎	和光春美	中島恵美	板山はる糸		
後	出口雅美	和光重彦	山倉喜香	大田かみ	塚原明美	田中新一	吉田克義	山本正太郎	種田孝一	加藤真幸	板山邦郎	出口善太郎	河村善太郎	松浦太郎	和光春美	中島恵美	板山はる糸			

## 新春の大教会を彩る初例会

### 各会で賑やかに開催される

各会の初例会は、1月6日の女子青年を皮切りに、少年会の「本愛こども会」など、それぞれ賑やかに開催された。

14日のこども会には、少

年会員約60人が参加。全員

でおつとめを勤めた後、身近な道具を使った「科学実験」を行い、万華鏡などを手作りした。

また、婦人会は20日に初

青年会は、13日に初例会

を実施。大教会の春季大祭で祭典ひのきしんを務めた後、委員会を開き、ミーティングを行った。

また、婦人会は20日に初

### ハーftime

この時期になると、大学受験のときを思い出す。今でもきつかけはよく分からないが、勉強が大嫌いだった私が、初めて自分から勉強したいと、ふと思ったのは高校3年春のある日のことだった▼その日を境に取り憑かれたように受験勉強に没頭した。その一年間、つらいとか苦しいとかいう思いは一切なく、むしろ勉強している時間が楽しく、毎日が充実していた▼名門・麹町中学校では、宿題も担任も定期テストも廃止する改革を行った。「やら

されている学習」ではなく、生徒が自主的に楽しみながら学ぶ仕組みを作ることによって進学実績はさらに向上した▼「やらされている」環境では、人間は成長しにくい。「自主性」と「楽しむ」とは何歳になっても大切にしていきたい。

教理随想

言わん言えんの理を探る



天理教の信仰の要が、一人一人の胸の掃除にあることは前号で述べました。今月からは掃除すべき「八つのほこり」について考えていきたいと思います。

\*

きれいな心になりなさいというはおそらくどの宗教でも説いているでしょうが、もつと具体的、どのように心を掃除するのかということを示しているのが八つのほこりの教えです。

天理教の信仰の要が、一人一人の胸の掃除にあることは前号で述べました。今月からは掃除すべき「八つのほこり」について考えていきたいと思います。

きれいな心になりなさいというは

八つのほこりは「惜しい、欲しい、憎い、可愛い、恨み、腹立ち、欲、高慢」の八種

きれいな心になりなさいというは、おそらくどの宗教でも説いているでしょうが、もつと具体的、どのように心を掃除するのかということを示しているのが八つのほこりの教えです。

八つのほこりは「惜しい、欲しい、憎い、可愛い、恨み、腹立ち、欲、高慢」の八種ですが、これは程度の軽い順に並んでいるといわれることがありますが。そう考えれば最初の「惜しい」というのは、自分の持つている物を出そうとしない、あるいはできる事でもしよとしない心使用ですから、まだ軽いようにも思いますが、

それだけに誰もが積みやすいほこりでもあります。「惜しい」とは、心の働き、身の働きを惜しみ、世のため人のためにするべき相応の務めを欠き、嫌なことを人にさせて自分は楽をしたという心。すべて天理に適わぬ出し惜しみ骨惜しみの心使いがほこりである、と教えられています。

【第50回】

我が心を常に外へ向けて 人だすけに骨身惜しまず

使えるのに物を捨ててしまふ行為や、その物自体を「もつたいたい」と惜しむ心はほこりではありません。教祖が物を大切にされた事実は逸話篇の随所に見ることができまふし、物を大切にすることが人々を大切にする心につながることを教祖は教えてくださっています。そう思うと「もつたいたい」と「惜しい」との違いは、一言でいえば自己中心的であるか否かが基準になるといえるでしょう。

自分が飲んだり食べたり遊んだりするお金や時間は惜しまないのに、困っている人を援助するための出費や手間、時間を惜しむのは大きなほこりでありまふ。骨惜しみをして身体を働かせなければ体力は必ず落ちていきます。それと同じで心の働きを外へ向かって使わなければ次第に徳が失われ魂が痩せていく。したがって運命も下降線をたどらざるを得ません。おさしづに、人間というものは、身ばかりもの、心一つが我がのもの。たった一つの心より、どんな理も日々出る。 (明治22・2・14) と教えられています。「どんな理も出る」というのは、健康も、家庭の治まりも、仕事上のことも、何もかも一切が心の使い方が現れ出てくるという意味です。したがって自分の人生や運命を良くしようと思ふなら、これまでの心の使い方方を反省し、親神様の思召通りに心使いを切り替えることが何より肝心ということになる。その第一歩が、骨惜しみの心のできるだけ使わないように、とご教示くだされているのです。小さな積み重ねが運命切り換えの大きな種になります。心を常に外へ向けて骨身惜しまず、人の役に立つ実行を続けていきましよう。

布教所開設

平成30年10月28日

愛三布教所(本喜愛所属)

三重県桑名市蓮見町646-20

所長 岡野 元郎

講社結成

平成30年11月18日

石上講社(本築港所属)

天理市石上町474-16

講社長 山下 佳孝

修養科第930期修了者

本築(本清愛) 山下 幸世

本山王(本愛南) 武藤 陽一

本愛徳 佐藤 正喜

本滋賀 北川 絢

以上4名

12月の中席者数

(1月20日提出分まで)

本美郷 1 以上1名

12月の初席者

本徳 小川 利輝

本正道 長瀬 五郎

” 宮崎 睦

以上3名

修養科生教養掛

第930期

10月 水谷 篤(本海門)

11月 山下 静恵(本築港)

11月 水野 一徳(本正徳)

12月 山田真理子(本今村)

12月 中村 猛(本鯨城)

12月 出口 敬子(本正道)

右の各氏が教養掛を務めた。

第88回教人資格講習会

修了者

(平成30年12月11日付)

本則武 安藤まり恵

以上1名

嘉野咲枝さん(本濱松部属)

本浜春分教会(二代会長)

12月27日に出直された。

享年79歳。告別式は12月30

日午前11時より、板山眞一

本濱松分教会長を齋主とし

て、しめやかに執り行われ

た。

山田士郎氏(大教会役員)

本宝浦分教会三代会長)

12月31日に出直された。

享年88歳。告別式は1月3日午前10時より、世話人・佐藤正成役員を齋主として、しめやかに執り行われた。

訂正

1月号6頁の本清愛分教会の訃報の記事において誤りがありました。ここに訂正いたします。

誤 山下齋子さん  
正 山下齋子さん

若いお父さん・お母さんへ

家族ぐるみで



教会へ参拝しましょう

婦人会・青年会・少年会からの提唱

大教会日誌

平成30年12月25日～平成31年1月24日

12月

26日 本部月次祭

28日 餅つきひのきしん

29日 年末清掃・迎春準備ひのきしん

常任役員会議◇役員会議

31日 大祓式

1月

1日 元旦祭

祭主・大教会長 扨者・大橋 進、加藤成幸

指図方・出口道男 賛者・伊藤寿輝、佐藤幸一郎

◇大教会長挨拶

2日 よふき会初例会

5日 本部お節会 (7日まで)

6日 女子青年初例会

12日 常任役員会議◇教会長年頭連絡会

学生会初例会

13日 春季大祭

祭主・大教会長 扨者・出口道男、佐藤幸夫

指図方・板山公司 賛者・伊藤寿輝、松原 悟

◇祭典講話—内統領・宮森与一郎先生

青年会初例会

14日 布教実修所

本愛こども会

17日 むつみ会初例会

こども食堂MOGU 参加者49人

20日 婦人会初例会

おつとめ・十二下りてをどり、

大教会長挨拶、会食

22日 おはなし会

雅楽勉強会

24日 本愛ようぼく錬成会

